

内務 出工銀十円 鑄工銀十円

鑄工銀 出工銀六十円

製品 高嶺鐵鑄鑿畫、特ニ滿洲鐵鑄鑿畫

支那人 内 山 寮

金子銀 八圓人辨營

立 大五六年四日

退 大洲市西高千原三三子

金子銀工預入筆端入者

常務理事 斎田 一 准理

日本鐵鋼會大函

大正十二年十月廿二日

財團法人協誠會大阪支店

爭議關係官衙 泉尾警察署

當鑄工所ノ金子増産ハ十數年ハ幡製鐵所ニ在勤シソノ間ニ金子式製鋼爐ノ特許ヲ得タ人デ鑄物ニツイテハ造詣ノ深イ人チアル、氏ハ日本鑄鋼所ノ技師長モ勤メテキタコトガアル、大正六年ニ獨立シテ鑄工所ヲ經營スル様ニナリ高級鑄物特殊鑄物ヲ製造シ特ニ滿洲鐵鑄物製造ニ力ヲ入レテワツタ、大正九年八月鐵道省研究所ノ技師當所ニ來リ金子氏ニ滿洲鐵特殊軌條ヲ製造セヨト激勵シタガ爲ニ氏ハ感激シテ非常ナ苦心ト多大ノ犠牲ヲ拂ヒ該製造ニ努力シタ結果遂ニ同年十一月下旬ニポイントクロシングヲ製造スル様ニナツタ、以後當所ハ滿洲鐵鋼製ノ鑄物ヲ畧ボ完全ナモノニ製造スル様ニナツタガ該鑄物ヲ以テ英國ノエドガーアレン製鋼會社ハツドフキールド製鋼會社米國ノテラーワルトン製鋼會社ローレイン製鋼會社ノ滿洲鐵鑄物ト競争スルニ餘リニ貧弱デアツタガ幸ニモ政